

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|---------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | 多機能型事業所 Dear Families | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 4月 21日 ～ 令和7年 4月 28日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 1名 | (回答者数) | 1名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 4月 15日 ～ 令和7年 4月 23日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3名 | (回答者数) | 3名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 4月 30日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にやっている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|----------------|
| 1 | 利用児童の満足度 | 児童が通いたい場所となるような様々なプログラムの提供 | |
| 2 | 支援のプログラムの提供 | スタッフ同士で毎日話し合い、その日の天候や児童の意思に沿った支援（個別支援計画含む）の提供をしている | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 外部との交流 | 外活動の際に少ない時間ではあるが時折交流はできている。ただし、全体的に交流ができているとは言えない | 今後地域のイベントなどに積極的に参加し交流の機会を図る |
| 2 | きょうだいや保護者支援（家族支援） | スタッフ人数に余裕がないため、利用児童の支援のみできょうだい支援や家族支援まで追いついていない | 余裕がない中でもSNSやホームページ、お便りなどを活用して支援提供できるようにする |
| 3 | 非常時対応の周知 | ホームページなどで公開できているが、全員に周知されていないと思われる | ホームページで確認できることなどをSNSやお便りで報告し周知の徹底を図る |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 多機能型事業所 Dear Families | | | | | 公表日 | | | | 令和7年 5月 13日 | | |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-----------------------------------|-----------------------|--|--|--|-------------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか | 1 | 2 | | | | | | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 5 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け、その内容を把握し業務改善につなげているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 6 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、ホームページ等で公開しているか | 2 | | 1 | | | | | | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 3 | | 未実施・今後利用者数や職員数により実施予定 | | | | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか | 3 | | | | | | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 9 | アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 3 | | | | | | | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 11 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 12 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 13 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | | | 相談して話し合っている | | | | | | | |
| | 14 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 15 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 16 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | | | 業務開始前に一日の流れや気を付けることなどは確認して話し合っている | | | | | | | |
| | 17 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | | | 業務終了後には振り返りを行い共有している | | | | | | | |
| | 18 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 3 | | | | | | | | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 | 19 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか | 3 | | | | | | | | | | |
| | 21 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 3 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | | 3 | | あてはまる例が現在はない |
| | 23 | 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | | 3 | | あてはまる例が現在はない |
| | 24 | 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | | | 3 | | あてはまる例が現在はない |
| | 25 | 小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | | | 3 | | あてはまる例が現在はない |
| | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | | | | |
| | 27 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか | | | 3 | | 現在のところはない |
| | 28 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 2 | | 1 | | |
| | 29 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | | | | |
| | 30 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか | 1 | 1 | 1 | | 一部の保護者に個別的にできている部分もあるが、保護者全体には実施できていない為、今後SNSやお便りなどを活用し行っていく予定 |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | | | | |
| | 32 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながらこども支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 3 | | | | |
| | 33 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | | | | |
| | 34 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか | | | 3 | | 令和7年度中に実施予定 |
| | 35 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | | | | |
| | 36 | 定期的に通信等を発行し、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか | | 1 | 2 | | 活動概要などはSNSにて発信はできているが、お便りなどはまだ発信できていない為、今後発信していく予定 |
| | 37 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか | 3 | | | | |
| | 38 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | | | | |
| | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 3 | | 令和7年度中に実施予定 |
| 非常時等の対応 | 40 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 2 | | 1 | | |
| | 41 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 2 | | 1 | | |
| | 42 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 3 | | | | |
| | 43 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | | | | |
| | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 1 | 1 | 1 | | その日あったことやトラブルに関しては随時共有し話し合いを行っているが、ヒヤリハット事例集までは作成できていない→今後作成する |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | | | | |

| | | | | | | | |
|--|----|---|---|--|--|--|--|
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 3 | | | | |
|--|----|---|---|--|--|--|--|